

お知らせ

まちだ〇ごと大作戦18-20⁺終了

市制施行60周年の2018年からスタートしたまちだ〇ごと大作戦18-20⁺は、昨年12月末で終了しました。人と人、地域や事業者の新たなつながりが生まれ、さまざまな分野で作戦が展開されました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

問広報課☎724・4084



縦覧いただけます

都市計画案

都市計画法第17条に基づく縦覧で、期間中、住民及び利害関係人は、都市計画の案について、意見書を提出することができます。

●町田3・4・12号森野木曾線関連

内町田都市計画道路の変更(町田3・4・12号森野木曾線)、用途地域の変更、高度地区の変更、防火地域及び準

防火地域の変更

●相原地区資源ごみ処理施設整備事業関連

内町田都市計画ごみ処理場の決定(第3号町田市西部資源化センター)、緑地の変更(第35号相原大谷戸緑地)



内住民及び利害関係人縦覧期間1月5日(水)~19日(水)、午前8時30分~午後5時(土・日曜日、祝休日を除く)場都市政策課(市庁舎8階)意見書の提出1月19日まで(消印有効)に直接または郵送で都市政策課(〒194-8520、森野2-2-22)へ。

問都市政策課☎724・4247

利用者を募集します

盲導犬・介助犬・聴導犬

盲導犬・介助犬・聴導犬の利用を希望する方は、1月13日までにお住まいの地域の障がい者支援センターへお問い合わせください。

内都内在住の18歳以上で次の要件を満たす方 ①盲導犬=視覚障がい1級の方、介助犬=肢体不自由1・2級の方、聴導犬=聴覚障がい2級の方 ②都内におおむね1年以上居住している ③世帯の所得税課税額が月平均で7万7000円未満である ④盲導犬・介助犬・聴導犬の飼育を、家屋の所

有者・管理者から認められている⑤決められた訓練を受け、盲導犬・介助犬・聴導犬を適切に管理できると認められる⑥盲導犬・介助犬・聴導犬の利用が、社会活動への参加に効果があると認められる

問各地域の障がい者支援センター(堺☎794・8790FAX798・2290、忠生☎794・4851FAX794・4852、鶴川☎708・8821FAX708・8977、町田☎709・1301FAX709・1302、南☎706・9624FAX799・2145)、町田市障がい福祉課☎724・3089FAX050・3101・1653

スポーツアワードまちだ

表彰対象者募集中

全国・世界レベルで活躍し、町田のスポーツ界に貢献した選手やスタッフ等を公募・顕彰し、アスリート等と市民をつなぐ「スポーツアワードまちだ」(3月27日開催)の表彰対象者を募集しています(自薦・他薦は不問)。グランプリ(記念品と副賞10万円)、準グランプリ(記念品と副賞5万円)の他、各賞を予定しています。内町田市のスポーツ振興に多大な貢献をした個人または団体で、次のいずれかに該当する方 ①2020年1月1日~2021年12月31日に顕著な実績をあげた②町田市出身で全国や世界を舞台に活躍している③市内で特定の競技の発展振興に尽力した④町田市を中心に活躍するアスリートを指導している⑤今後の活躍が大いに期待される⑥スポーツで町田市の名を広めた/プロ・アマや町田市内

在住の有無は問いません。なお、FC町田ゼルビア(サッカー)、ASVペスカドーラ町田(フットサル)は、町田市がホームタウンチームとして支援する特別な存在であるため、表彰対象から除外します。

内1月20日までにSportsまちだホームページ協議会HPのエントリーフォーム(右記二次元バーコード)で申し込み。



問スポーツ振興課☎724・4036

援農ボランティア育成研修生を募集します

野菜作りのノウハウを学び、「農」への理解を深めて農家を支援する援農者を育てることを目的とした研修です。スタッフの指導のもと、共同圃場で農作業を行いながら、農業技術を学びます。

内農家への農作業支援等、都市農業への市民参加に関心がある方(農業経験のない方も歓迎)研修期間4月~2023年1月(10か月)場野津田神社隣の農業研修農園定10人程度(申し込み順)費年額3万円(講師料、傷害保険料、栽培する野菜の苗や種子代、肥料、農薬、農業用資材等を含む)

内「援農ボランティア育成研修生申し込み」と書き、住所・氏名・電話番号(FAX番号・メールアドレスがあれば併せて)を明記し、3月15日までにFAXで(特)たがやす(FAX794・9002)へ。

問(特)たがやす☎090・3435・8611、町田市農業振興課☎724・2166

町田市指定無形民俗文化財の2つの保存会が表彰されました

問生涯学習総務課☎724・2554

町田市指定無形民俗文化財「三ツ目囃子」の保存会である三ツ目囃子振興会は文部科学大臣が表彰する令和3年度地域文化功労者表彰を受賞しました。三ツ目囃子は幕末の頃(1853年~1869年)に興ったと言われており、現在では1969年に発足した三ツ目囃子振興会により市内各種の行事や近郊の神社祭礼等で披露されています。

また、町田市指定無形民俗文化財「金井の獅子舞」の保存会である



三ツ目囃子振興会

金井の獅子舞保存会は東京都知事が表彰する令和3年度東京都功労者表彰(文化功労)を受賞しました。「金井の獅子舞」は江戸時代の寛文年間(1661年~1672年)に金井村で考案され八幡神社に奉納したのが起源とされています。1972年に発足した金井の獅子舞保存会により次世代や市民の方々へ獅子舞の魅力が伝えられています。

昨年12月13日には両保存会の代表が市庁舎を訪れ、市長に表彰の喜びを報告されました。



金井の獅子舞保存会

中町中央町内会が防犯功労団体表彰を受賞しました

問市民生活安全課☎724・4003

中町中央町内会が、昨年9月30日に防犯功労団体表彰を受賞しました。

防犯功労団体表彰は、多年にわたり防犯活動に尽力し、特に顕著な功労があったと認められる団体に対し、警察庁長官と公益財団法人全国防犯協会連合会会長との連名の表彰状とともに表彰楯が授与されるものです。

中町中央町内会は、14年以上の長きにわたり、年間を通じた朝夕の子ども見守り活動や、町内会全体での定期パトロールなど精力的に取り組まれています。また、警察と連携した地域安全活動にも積極

的に協力・参加し、地域住民の防犯意識の高揚及び犯罪抑止に尽力されるなど、防犯活動上多くの功労があったと認められたことから、警視庁、東京防犯協会連合会から推薦され、この度の受賞に至りました。



12月13日に市庁舎を来訪されました

ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)に係る覚書を締結しました

問児童青少年課☎724・4097

市は、昨年12月17日に(公財)日本ユニセフ協会が進める「ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI*)」について、同協会が設置するCFCI委員会と、事業実施に向けた覚書を締結しました。

子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)とは、ユニセフが主唱する、「子どもの権利条約」を自治体レベルで具体化するための世界的な取り組みです。日本では、CFCI

委員会が自己評価型の「日本型子どもにやさしいまちモデル」を定め、国内での展開を目指しています。

市では、昨年12月から3年間、市の各部署において、チェックリストを用いた自己評価を実施します。また、関連団体等からご意見をいただき、子どもに関する施策・事業の改善に取り組んでいきます。

※CFCI=Child Friendly Cities Initiative

愛称「和光大学ポプリホール鶴川」を継続

学校法人和光学園 和光大学とネーミングライツ協定を更新しました

問文化振興課☎724・2184

市は、和光大学ポプリホール鶴川(町田市鶴川緑の交流館)のネーミングライツについて、現スポンサー事業者である学校法人和光学園 和光大学と昨年12月13日付で協定を更新しました。

和光大学ポプリホール鶴川の愛称は、町田市鶴川緑の交流館の開館当初(2012年)から使用されており、広く地域の皆さんに親しまれてきました。今後も同大学と連携して施設の活性化を図るとともに、鶴川地域のさらなる発展に貢献していきます。

【協定の概要】

スポンサー事業者学校法人和光学園 和光大学

協定期間2032年3月31日まで(10年間延長)

金額年間450万円

